

✠ 太陽と月と12人のキャスト ✠

数十万年前以降、人類は火を手にすることによって他の動物と差別化できる社会を形成し、狩猟社会に入り、やがて人類は磨製石器を作り出すことにより森林伐採が可能になり、農業を知り、定住化が進み、人口が増加することによって文明が芽生えた。

太古より、太陽の出没に伴って繰り返される明暗を意識して生活してきたのと同様に、月(太陰)の満ち欠けによる形相と明暗の変化に大きな関心を示し、夜間では月光を利用して生活していた。

メソポタミア文明を築いたバビロニア人は、季節の推移が年間の太陽の高度変化の周期だけでなく、月の満ち欠け(図1)によることに初めて気づき、いわゆる太陰暦の基を作ったと言われている。

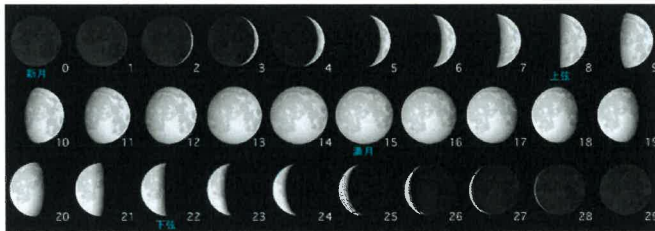


図1. 月の満ち欠けの周期

月が地球の周りを公転する周期は29.5日、太陰暦では1年12か月で354日となり、地球の公転を基にした1太陽年に比べて11日も短くなってしまったため、1年365日の季節と月を基にした月日が年ごとにズレるため、太陰暦は農耕などには適さない欠点があった。

メソポタミアに定住し始めた人の中から権力者である王様が誕生すると、王様の権限は今日まで同様に繰り返され、城を建てシンボルとして巨大な記念碑を建造するため膨大な煉瓦が必要となり、そのために森林が枯渇して砂漠化し、文明は崩壊に至った。

エジプトでは紀元前3000年頃、毎年初夏の雨季に東の空に明るいシリウスが輝き始め、ナイル川が氾濫して大洪水となることを察し、シリウスが見え始める夏至を始まりとして、1年を365日とする太陽暦の起源となる「シリウス暦」を作った。この1年は月の周期を基にした30日による12か月と、年の終わりの5日間の安息日で成り立っていた。この暦を基に、1年を大きく4つに分けて、洪水・種まき・収穫時期に分けて農作業を管理していた。

暦は、原始的な狩猟文明から農耕文明に移る過程で季節による気候変動に対して、食物を計画的に生産し収穫・貯蔵するという人類が生活する上での必要性

の中から生まれてきた知恵である。

古代ローマでは、ジュリアス・シーザーが紀元前46年に、エジプト暦をベースに、その暦のズレを補正するため、4年に1回、1日を増やす「閏年」を設け、エジプトで始まった太陽暦がヨーロッパに広まる基となる「ユリウス暦」を作った。

その後、1600年間ユリウス暦が使われていたが、ユリウス暦も128年間で1日ズレることが解ったため1582年ローマ法王グレゴリウス13世は、正確な暦でキリスト教の権威を取り戻すため、その間にできた13日間の誤差を修正し、現代でも世界中で広く使用されている「グレゴリオ暦」を作るのである。

中国では殷代の甲骨文字が解明され、既に紀元前1500年頃には、太陰暦を基に十干十二支で数える暦が使われ、今から2000年前頃には、暦と季節のズレを補正するために「二十四節気」(図2)を定めた。

中国やユーラシア大陸で、長期に太陰太陽暦が使われ続けたのは、月の満ち欠けや潮の干満が大河流域での洪水による氾濫を予知するのに役立つことや漁民などの航海時にも重要だったことによるもので農耕や海洋生活上必要だったのである。



図2. 二十四節気

$$28 \times 13 + 1 = 365, 30.5 \times 12 - 1 = 365$$

日本では、「トランプ」と呼ばれている遊戯カードは世界では単にカードと呼ばれているが、古代エジプト・中国・インドなどが発祥とされ、日本には16世紀にポルトガルから伝来したもので、ポルトガル語の「Carta」を音写して以前にはカルタとも呼ばれていたが、トランプは日本だけの呼び名であり、「切り札」のことを指している。

当初、トランプカードは ♠♥♦♣ の4種類、13枚のカード52枚で構成されていたが、19世紀になると“Joker”がプラスされ、これが現在の標準セットになり、トランプの数、 $1+2+3+\dots+13=91$ 、4種類で $91 \times 4 = 364$ 、Jokerを加えると365枚で太陽の周期を表し、2枚目のJokerを加えると閏年になる。

♠♥♦♣の4種類は、♠は剣の形から貴族・騎士・死、♥は洋杯の形から僧侶・魂、♦は貨幣の形から商人・お金、♣は棍棒の形から農民・学問を、また ♣♦♥♠は春夏秋冬の四季を、赤/黒の ♦♥♣♠は昼/夜を表すとされている。

2~10は数字であるが、11~13は絵柄であり、ここには表1に示す12人のキャストが登場する。

表1. トランプの絵柄12人のキャスト

♥ ハート	K	カール大帝 (フランク王国)	♠ スペード	K	ダビデ王 (古代イスラエル王)
	Q	ユディト (カール大帝の子の妻)		Q	パラス・アテナ (ギリシャ神話の戦いの女神)
	J	ラ・イル (ジャンヌ・ダルクの戦友)		J	オジェ・ル・ダノワ (カール大帝の騎士)
♦ ダイヤ	K	カエサル [ジュリアス・シーザー] (古代ローマの軍人)	♣ クローバー	K	アレキサンダー大王 (マケドニア国王)
	Q	ラケル (旧約聖書のヤコブの妻)		Q	マリー・ダンジュー (シャルル7世の妻)
	J	ヘクトル (トロイの王子)		J	ランスロット (アーサー王に仕えた円卓の騎士)

12人よりも最強のカード、それが数字の1であるA(エース)である。15世紀前半、ドイツで生産された木版刷りのトランプが、イギリスに大量に輸入された結果、イギリス政府が輸入禁止や輸入関税を設けて対抗していたが、1628年には国内で生産されたトランプにもカード税を課すようになり、1710年、英国管理局印のないカードは発売禁止となった結果、捺印場所が♠のA(図3)となり、偽造防止のために絵柄も大きく複雑になったのである。



図3. 最強のカード ♠A

紀元前8世紀頃から古代ローマで使われていた暦は1年が10か月304日しかなく、日付のない月が2か月60日もあった。これは農作業のない季節には暦は必要なかったことに起因している。

新年の始まりは現在の3月~開始、12月で終わりだったため、英語では9月~12月までの対応が、数字の7~10と9月(Sep)10月(Oct)11月(Nov)12月(Dec)のように2か月名称がズレている。

太陽暦では1か月は30.5日であるため、大の月

31日・小の月30日と区分されていたが、ユリウス暦を作ったローマのシーザーの誕生日が大の月の7月であったことから、自分の名前を**JULY**と改名してしまった。

ところが、ローマ皇帝アウグストゥスが自分の誕生日が8月で小の月であることを不満に、1年の最後の月である2月から1日を自分の月に移動させ大の月に変更するだけでなく、シーザーと同様に、自分の名前を**AUGUST**と改名してしまった(図4)。

この2人の傍若無人な振る舞いによって大の月・小の月の順番は崩れ、無秩序状態となってしまった。



図4. シーザーとアウグストゥス

日本では、古くは確かな暦がなかったが、690年から中国渡来の太陰太陽暦を採り入れ、その後は1685年に初めてズレを修正して作られた「和暦」となった。しかし、財政難に苦しんでいた明治政府が、1878年が閏年のため給料の支払いを惜しんだ結果、暦を西洋風にするという名目で、正月を1か月早くしたという裏話がある。

トランプの絵柄の顔は、各々の関心の度合いを示し、正面は関心度が最も高く、斜に構えているのは程々、横顔は嫌悪・避けたいものを表している。

Jackは王子、Queenは女王、Kingは王様であるが、JackもKingも横顔だが、Queenには横顔がないことから、昔から男性は好き嫌いが激しく、女性は何でも程々に興味があるようである。中々、王様の愛情♥は女王には伝わらないが、女王の老化♠は王様にも対処のしようがないらしい(図5)。

いつの時代も、愛♥、お金♦、知識♣、死♠は、人々の永遠の関心事なのは間違いない。

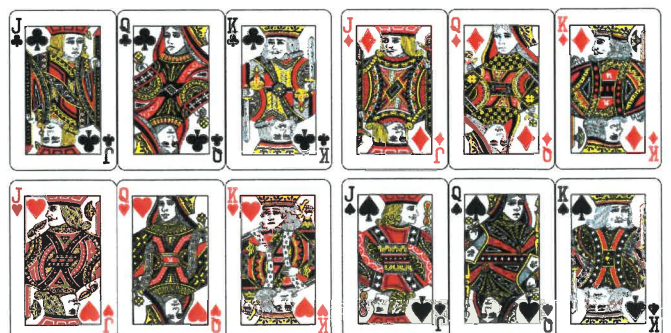


図5. トランプの王子・女王・王様